

産総研との 連携に期待

藤澤 順一

つくば市長



つくば市は、世界的な科学技術中枢拠点都市を目指す筑波研究学園都市として、また、悠久の歴史にはぐくまれた伝統的な街並みや筑波山に代表される豊かな自然環境の調和する田園都市として着実な発展を遂げてまいりました。

今後は、研究機関の集積、消費者の集積という地の利をいかして、地域独自につくば市の活性化を図り、産業振興の土台を築くことが必要と考えております。市民の多くも、つくばに集積した知識と科学技術を街づくりに活用されると望んでおります。

具体的な取り組みとしましては、産業の活性化を図り、産業支援機関、研究支援機関との連携を強化し、産業振興の具現化を進めるため、昨年度から「つくば産業創出支援事業」をスタートさせました。また、来年4月からは、つくばの頭脳と技術情報、産業支援制度の収集・提供など、各種産業総合支援情報を盛り込んだ「つくば産業情報ネットワーク」を開設し、さらには、研究開発型企业などの新ビジネスや農業への新規参入者を支援してい

くための基金等を創設し、産業の活性化を推進していく所存です。

国の研究機関等が独立行政法人化されたことに伴い、産業技術総合研究所でも、従来の国立研究機関における各種の制約がなくなり、弾力的な運営が可能となり、外部の研究機関や産業界との間で積極的な交流が推進されることとあります。

過日も、市内の工業団地企業、商工会加盟の工業部会といったつくばの産業界と産総研が共催で産業振興セミナーを開催しております。

つくば市といたしましては、独立行政法人化を産業活性化の絶好の機会と捉え、国内最大の公的研究機関である産総研とつくばの産業界が強力に連携し、企業群の集積、研究機関の中から新たな創造者の出現や産業界に対しての画期的な成果を大いに期待しております。